

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 事業の概要

令和元年度のシルバー事業を取り巻く環境は、少子高齢化の進展に伴い、将来に必要な労働力人口が減少する中で、働く意欲のある高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かし年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現を図ることが重要とされ、シルバー人材センターへの期待が益々高まっています。一方、企業における65歳までの雇用確保措置の影響を受け、シルバー会員の平均年齢が上昇するとともに高齢会員の就業機会の確保が課題となっています。また、令和2年1月頃から感染が拡大を続ける「新型コロナウイルス感染症」は日本経済や雇用等にも大きな影響を及ぼしシルバー事業にも及んでいます。

芦屋市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の令和元年度事業は、第2次中期事業計画（令和元年度～令和5年度）を基本に下記の項目を重点に会員、役員、事務局が連携し、積極的に事業に取り組みました。

- ① 会員数の拡大と就業機会の確保
- ② 地域就業機会創出・拡大事業の推進
- ③ 生活支援型訪問サービス事業及び高齢者介護予防応援事業の推進
- ④ 独自事業の推進
- ⑤ 会員の技術・技能と接遇の向上
- ⑥ 安全就業の徹底と適正就業の推進
- ⑦ 専門委員会の見直し

会員数の拡大については、広報啓発活動を強化するとともに、入会促進強化月間を設定し会員一人紹介運動や土曜日入会説明会を開催したほか、街頭啓発活動はより効果的な時期を選び実施しました。また、剪定班、技能班が市民対象に講習会を実施し会員の拡大に取り組みました。

就業機会の確保については、兵庫県シルバー人材センター協会（以下「兵シ協」という。）と連携し高齢者活躍人材育成事業（清掃スタッフ講習、居住施設管理講習、就業体験）及び就業相談窓口を開設したほか、一般市民・会員を対象とした技能講習会の実施や地域就業機会創出・拡大事業を継続し就業機会の確保に取り組みました。

介護予防・日常生活支援総合事業「生活支援型訪問サービス事業」は指定事業者として積極的に取り組み就業機会を確保することができました。

受託事業のうち公共では、「子どもの安全・見守り（あしやキッズスクエア）」と「広報あしや配布業務」が実施回数等の変更により減少しました。また、市は公共施設を民間に管理させる「公共施設包括管理委託」方式に変更したため当センターの契約先は民間となりました。

民間では、スーパー関係での業務が請負から派遣事業に切り替えとなり減少しましたが、企業、屋外作業等の新規契約や公共施設包括管理業務契約により大幅な増加となりました。

派遣事業については、スーパー関係(ダイエー、コープこうべ)が増加したほか、保育施設子供見守り等を新規契約することができ契約額は前年度より大幅な伸びとなりました。なお、スーパー関係は一部業種に限り業務時間の拡大をすることとしました。

啓発活動については、「しるば〜たいむず」の全戸配布や「広報あしや」への広告掲載、阪急バス車内放送及び芦屋駅前郵便局での音声によるモニター広告等を継続実施しました。また、市役所内の展示コーナーを活用しシルバー事業を紹介するとともに、第3回シルバーフェスティバルを実施しました。更に、兵シ協では多様な広報媒体を活用した取り組みとして、テレビ、ラジオ、電車内広告のほか、新聞広告をすることになり、当センターは朝日新聞、毎日新聞に掲載され地域に広くアピールすることができました。また、企画委員会と会員ボランティアが「はつらつ館」周辺の花緑化に取り組みイメージアップを図りました。

地域就業機会創出・拡大事業については、高齢者等の居場所づくり「小町カフェ」が3年目の取り組みとなり、新たに壁面ギャラリー、小町サロンを開催する等利用者の拡大に努めました。また、高齢者介護予防応援事業「はつらつ憩サロン」は市の補助を受け内容を充実させ継続実施しました。

独自事業の推進については、新規提案事業の募集を行い、ネットショップ小町モール事業を採択するとともに、前年度採択した、絵手紙教室、キーボード教室の実施や住環境サポートチームが市民対象講座を実施する等、会員自らが積極的に取り組み、事業高は前年度比6.9%の伸びとなりました。

会員の技術・技能と接遇の向上については、新入会員オリエンテーションでの接遇研修や各職群での研修を実施したほか、接遇の重要性について家事援助就業会員を対象に講習会を実施しました。また、福祉・家事援助講習会、子育て支援ステップアップ研修会等を実施し知識・技能の向上を図るとともに、市民向け障子・網戸、植木剪定講習会や市民公開セミナー等を実施しました。

安全就業、健康管理の徹底については、事故ゼロを目指して、毎月の安全パトロールを実施しその結果を分析し改善に取り組みました。また、交通安全及び健康講習会を実施したほか、「安全だより」の定期的な発行、第3回安全推進大会を開催する等、安全意識の高揚に取り組みました。更に自然災害への対応について安全就業基準に追加の改正と作業別安全基準策定に向けて安全委員が中心となり各職群において意見交換を行いました。

適正就業については、就業相談窓口の開設や未就業者への聞き取り調査を実施し就業率の向上に取り組むとともに、適正就業ガイドライン「シルバー人材センターの案内」を活用し、会員及び発注者へ説明し周知徹底を図りました。また、長期継続就業(5年)の運用として対象業務を公募し選考された会員にはローター

ション就業を実施しました。

最後に専門委員会の見直しを行い令和2年6月から新たな委員会で運営することにした。（議案書47ページ・令和2年度事業計画に掲載）

以上のような取り組みを進めた結果、受託事業・独自事業の事業高は請負から派遣事業に切り替えた影響を受け約962万円減の4億3,880万円、就業延人員は4,245人減の10万5118人となり、目標値は達成できませんでした。しかし、就業率は1.9ポイント上昇し85.2%となり目標値は達成しました。

派遣事業の契約額は前年度より2,142万円増の3,266万円、就業延べ人員は4,280人増の6,421人と大幅な伸びとなりました。

会員数は、本年度入会者130人、退会者129人で前年度より1人多い1,122人となり目標値の1,150人を達成することができませんでした。男女比率は男性55.5%、女性の比率は44.5%で前年度より1%ポイント上昇しました。

その他の主な取り組みとしては、

センターの安定的な財政運営と地域福祉に貢献するため、国の補助事業の就業機会創出・拡大事業を継続実施し財源確保に努めました。

令和元年度は第2次中期事業計画の初年度の取り組みとなり、進捗状況について点検・分析・評価を行い、理事会で承認を得ましたので報告します。（別掲載）

最後に、「新型コロナウイルス感染症」は日本をはじめ全世界に感染が拡大し、政府・兵庫県・芦屋市では感染拡大を防止するために、令和2年2月に人が密閉・密集・密接するようなイベント等を中止、延期する等自粛要請を行い、当センターは「新型コロナウイルス感染症対策会議」を立ち上げ、会員の安全を図り感染拡大を防止するため2月27日からのイベント、講習会、講座関係等を中止・延期を決定しました。その後も感染が拡大し続けたことから期間延長したことで令和元年度事業に影響が出ています。今後更に延長されると次年度事業に大きな影響が懸念されます。

以下、令和元年度実施計画に基づく事業の詳細を報告いたします。

2 数値目標に対する実績

	数値目標	実 績	達成率
(1) 会員数	1, 150人	1, 122人	97.6%
(2) 就業率	85.0%	85.2%	100.2%
(3) 就業延人員	111, 000人	105, 118人	94.7%
(4) 事業高	4億6千万円	4億3, 880万円	95.4%

※ (2) (3) (4) は派遣事業を除く

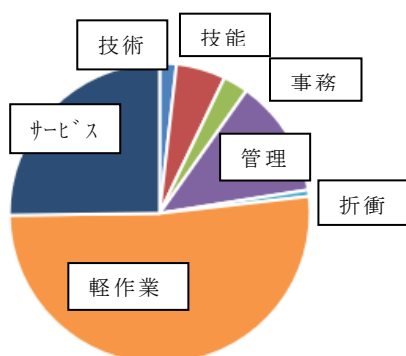
3 事業実績及び就業活動

(1) 請負事業（受託事業及び独自事業）

職 群	仕事の内容	事業高（単位：千円）			就業延 人員 (人)
		民 間	公 共	計	
技 術	各種講座・教室指導等	7,926	93	8,019	3,116
技 能	剪定・網戸張替・縫製等	22,718	704	23,422	2,685
事 務	受付、集計事務・筆耕等	5,869	6,176	12,045	1,796
管 理	施設・駐輪・駐車場管理等	54,219	1,424	55,643	11,365
折 衝	販 売 ・ 配 達 業 務 等	818	2,040	2,858	790
軽作業	商品整理・屋内外清掃等	179,116	47,142	226,258	51,794
サービス	家事、育児支援・広報紙配布	80,275	30,281	110,556	33,572
令和元年度計(A)		350,941	87,860	438,801	105,118
平成30年度計(B)		334,994	113,427	448,421	109,363
前年度比較(A)-(B)		15,947	▲25,567	▲9,620	▲4,245
前年度比率		104.8%	77.5%	97.9%	96.1%

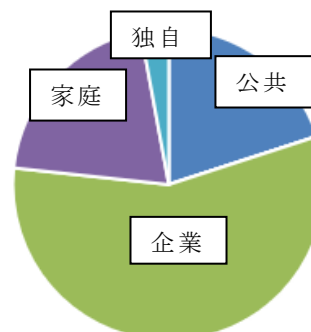
職群別比率

- ① 技術 1.8%
- ② 技能 5.3%
- ③ 事務 2.7%
- ④ 管理 12.7%
- ⑤ 折衝 0.7%
- ⑥ 軽作業 51.6%
- ⑦ サービス 25.2%



業種別比率

- ① 公共 20.0%
- ② 公社 0.0%
- ③ 企業 56.7%
- ④ 家庭 20.4%
- ⑤ 独自 2.9%



(2) 一般労働者派遣事業

	派遣事業高	就業実人員	就業延人員	手数料収入
平成30年度	11,234,769 円	16 人	2,141 人	1,023,840 円
令和元年度	32,659,602 円	95 人	6,421 人	3,480,400 円

* 兵シ協が派遣事業主となり当センターが芦屋市実施事務所として行う派遣事業はスタートから5年目となりました。令和元年度は大型スーパーの契約が請負から派遣へと切り替ったこともあり、大きく実績を伸ばしました。
(公益法人会計上、センター収入は取扱い手数料収入のみとなります。)

(3) 請負事業及び派遣事業を合わせた事業実績

請負事業の実績は派遣への切り替え等で減少となりましたが、派遣事業を合わせると、前年比率は102.6%の増加となりました。

	就業延人員	令和元年度	平成30年度
受託事業	99,435 人	426,027,337 円	436,472,027 円
独自事業	5,683 人	12,773,332 円	11,949,261 円
派遣事業	6,421 人	32,659,602 円	11,234,769 円
合計	111,539 人	471,460,271 円	459,656,057 円

(4) 独自事業詳細（別掲）

令和2年3月は、新型コロナウイルス感染症への対処として、はつらつ館の全ての講座等を中止としたため実績への影響を受けましたが、令和元年度に新たな事業が立ちあがったことや年間の受講者の拡大により、前年度比106.9%の実績となりました。就業延人員も前年度を354人上回り、就業機会の拡大ができました。

	内 容 (事業開始順)	就業延人員	令和元年度	平成30年度
1	着物リサイクル事業(はつらつ工房)	15 人	30,200 円	134,700 円
2	パソコン講座 (パソコン研究会)	232 人	469,480 円	420,100 円
3	一時預かり事業 (子育て支援班)	1,195 人	2,568,600 円	2,387,250 円
4	イベント企画 (子育て支援班)	5 人	2,500 円	10,312 円
5	リフォーム事業 (リフォーム班)	159 人	519,360 円	320,738 円
6	たのしい放課後教室(教育サービス班)	800 人	1,046,000 円	1,594,250 円
7	英語クラス (E・S・S・T)	179 人	355,500 円	273,000 円
8	シニアライフ・TOTALサポート講座 (S L S)	23 人	38,700 円	49,500 円
9	書道教室 (書道班)	92 人	450,000 円	460,500 円
10	傾聴事業「はつらつコール」	408 人	1,106,452 円	882,831 円
11	傾聴講座等企画 (はつらつコールG)	103 人	232,380 円	334,500 円
12	介護予防講座(体操・麻雀・歌/4 講座)	532 人	1,234,700 円	1,190,700 円
13	着付け教室 (着付け班)	46 人	114,400 円	54,000 円
14	シルバー野菜市(温石米販売含む)	27 人	259,260 円	256,120 円
15	手工芸製作販売(花こもの)等	31 人	38,550 円	97,160 円
16	はつらつ写真館(写真班)	6 人	21,500 円	18,300 円
17	刃物研ぎ(刃とぎ班)	131 人	299,200 円	386,400 円
18	袋物等製作販売 (夢きらら)	38 人	73,450 円	52,600 円
19	子ども絵画教室	52 人	135,000 円	156,000 円
20	シルバーはつらつ憩サロン	122 人	674,400 円	706,200 円
21	小町カフェ	1,135 人	2,205,900 円	2,164,100 円

2 2	絵手紙教室	26 人	71,000 円	令和元年度～
2 3	キーボード&ピアノ教室	326 人	826,800 円	令和元年度～
合 計		5,683 人	12,773,332 円	11,949,261 円

○パソコン研究会は、新たな企画として小学生対象のプログラミング教室を開講しました。また、スマホ未経験者向け体験会も実施し、一般・個人講座も含め年間261人の受講がありました。

○子育て支援班“まっぼっくり”の事業の一つである「乳幼児一時預かり」は、延べ1,136人の利用がありました。また、子育て支援班が企画した親子教室・ママのミニパーティを開催し、三世代交流を図りました。

実施日	実施内容	参加親子
4月26日	ママのミニパーティ、折紙・手遊び	4組
8月23日	ママのミニパーティ、鈴落とし作り	6組
2月28日	母親教室（コロナウイルスの影響で中止）	

11月9日に開催された「第13回子どもフェスティバル」に、会員11人が手作りおもちゃを持参し、ボランティア参加しました。

○「たのしい放課後教室」は、小・中学生合わせて17人の生徒が学習しました。

○E・S・S・T（English・Speaking・Support・Team）は、4コースの英語クラスを開講し、延べ711人の受講がありました。

○シニアライフトータルサポートチームが企画した講座は、延77人の受講がありました。

○書道教室は、生徒数は大人・子ども合わせて23人となり、延293人の受講がありました。

○傾聴グループ「はつらつコール」は、12件の傾聴訪問の事業と、「やさしい傾聴講座」「たのしい回想法講座」を実施しました。また、毎年継続している傾聴ボランティアには延158人のメンバーが、特別養護老人ホームを訪問しました。

○「介護予防講座」は、健康コミュニケーション麻雀講座が初心者、応用、レベルアップの3コースを実施し実績は527,200円となりました。

健康表現体操は、はつらつ館及びエルホームで3教室を実施し、実績は303,000円でした。会員対象の体操教室には延べ89人が参加しました。「みんなで歌おう」教室には、約60人が通い377,800円の実績となりました。

○着付け教室は、延べ98人の受講者がありました。

○はつらつ工房・花こもの・夢きららの製作班は、それぞれ毎月2回の活動を行いながら、芦屋さくらまつり、シルバークフェスティバル等のイベントに参加し展示販売を行いました。

- 3カ所で開催した刃物研ぎの利用者は284人（541本）でした。
- 子ども絵画教室生徒数は延べ130人の受講がありました。
- 介護予防応援事業「シルバーはつらつ憩サロン」(地域就業機会創出・拡大事業)は、地域の高齢者延407人が参加し、地域の集いの場となりました。また、会員延120人の就業機会の提供にもなりました。
- 地域就業機会創出・拡大事業で立ち上げ、3年目となった地域「ふれ愛」事業“小町カフェ”は順調に実績を伸ばし、延1,133人の会員の就業の場となりました。来客数は、前年度より302人増加し延べ5,703人でした。
「小町サロン」では19の事業を企画し、103回の開催、延べ472人が参加しました。
- 新たに、絵手紙教室（生徒数9人）、キーボード教室・ピアノ教室（生徒数23人）が始まりました。また、専門家集団として「住環境サポートチーム」が立ち上がり、2月には講習会を開催しました。

（５）介護予防・日常生活支援総合事業（別掲）

芦屋市の指定事業者として参入した生活支援型訪問サービスは3年目となり、前年度比102.9%の実績となりました。

事業年度	受託件数	就業延人員	事業実績
平成30年度	853件	3,002人	6,710,370円
令和元年度	835件	3,080人	6,905,862円

4 会員の登録状況

（１）入会説明会の開催

入会希望者に対し、シルバー人材センターの理念、就業システム、センターの現状等の説明会を毎月開催しました。2月は土曜日にも実施しました。

	令和元年度	平成30年度
入会説明会出席者	165人	178人
出席者の入会率	78.8%	78.1%

（２）会員の入退会等

①入会及び退会

（単位：人）

	令和元年度末	入会者	退会者	平成30年度末
男	623人	57人	67人	633人
女	499人	73人	62人	488人
計	1,122人	130人	129人	1,121人

②入会動機及び退会理由

入会動機	
健康維持・増進	36.4%
生きがい、社会参加	25.8%
時間的余裕	16.7%
経済的理由	14.2%
仲間づくり	3.7%
その他	3.2%

退会の理由	
転居、その他	27.9%
体調不良・病気等	24.8%
就業機会・希望なし	17.0%
加齢	13.2%
他所就業・就職	10.1%
家庭の事情（介護等）	7.0%

③在会期間別 （単位：人）

	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 4年未満	4年以上 6年未満	6年以上 8年未満	8年以上 10年未満	10年以上
男	56	56	86	102	88	75	160
女	71	44	85	69	74	56	100
計	127	100	171	171	162	131	260

④年齢別会員数 （単位：人）

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	平均年齢
男	18	108	230	177	90	74.3歳
女	30	112	172	125	60	73.3歳
計	48	220	402	302	150	73.8歳

⑤年齢別就業率 （単位：%）

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	全体
男	55.6	88.0	84.8	85.9	85.6	84.9
女	83.3	76.8	87.8	89.6	88.3	85.6
計	72.9	82.3	86.1	87.4	86.7	85.2

5 事業の普及啓発及び就業開拓

シルバー事業の周知及び就業機会の拡大のために、以下の活動をしました。

（１）広くシルバー事業を紹介するために、宣伝広告の掲載等をしました。

- ①「広報あしや」の毎月１日号に、事業活動に合わせた内容を掲載
- ②ＪＲ芦屋駅経由の阪急バス車内に、宣伝放送（１日３コースで２２８便）
- ③関連団体が発行する「芦老連だより」、「社協だより」にセンター事業の紹介及び仕事募集等の広告掲載
- ④芦屋オープンガーデン、芦屋市版電話帳（そうごうページ）に広告掲載
- ⑤茶屋之町商工案内地図看板（どこねっと）に「はつらつ館」を掲示
- ⑥市内郵便局ＡＴＭコーナーに設置される現金封筒への広告掲載
- ⑦芦屋駅前郵便局ＡＴＭコーナーに設置された大型電子モニターに、音声入り動画広告を放映

- (2) 会報「はつらつ芦屋」第28号・第29号を発行し、会員及び関係機関に配布しました。
- (3) ホームページを毎月更新し、広くセンターの事業活動をPRするために活用しました。
- (4) センター広報紙「しるば〜たいむず」第17・18号を発行し、市内全世帯に配布しました。
- (5) 全シ協の機関誌「月刊シルバー人材センター」を購入し、行政機関等の窓口に置いてシルバー事業をPRしました。
- (6) 「事務局だより」を毎月（第220号〜第231号）発行し、センターの活動及び情報等を会員及び関連団体に提供しました。
- (7) 独自事業の作品の展示即売及び当センターの活動宣伝のため、芦屋さくらまつりに出店しました。
- (8) 8月30日に役員13人が、芦屋市長及び市議会議長、副議長に直接面会し、シルバー事業のより一層の支援と助成を要請しました。
- (9) 会員による会員紹介キャンペーンの実施、JR芦屋駅及び郵便局周辺、大型スーパー前において宣伝用ティッシュとセンターリーフレット「Enjoy Life」を街頭配布し、入会促進及び就業開拓活動を行いました。
- (10) 兵シ協主催の事業推進大会に参加し、ロビーでは独自事業の作品展示・紹介を行いました。
- (11) 9月17日から30日まで2週間にわたって、市役所北館において、センターの活動紹介のパネル展を開催し、独自事業、同好会、女性の会、各種事業のチラシ設置、シルバーオンステージのDVD放映、手作り班の作品展示等を行い、シルバー事業及び会員の入会促進をアピールしました。期間中約200人の来場がありました。
- (12) センターの宣伝及びイメージアップのため、花ボランティア会員がはつらつ館周辺を花で飾り、オープンガーデンへ参加（2年目）しました。
- (13) 第3回シルバーフェスティバルやシルバーオンステージを開催し、地域交流を図ると共にセンターの普及啓発活動を行いました。
- (14) 10月18日、さくらFMに「はつらつコール」メンバーが出演し、シルバー及び傾聴事業を宣伝、周知しました。
- (15) 兵シ協が実施した新聞広告に応募し芦屋市が取り上げられ、朝日新聞および毎日新聞に、当センターの活動が掲載されました。

6 組織活動

(1) 定時総会

開催日・場所・出席者数	主 な 議 題
令和元年5月30日(木) 芦屋市民会館ルナホール 出席会員数873人 (委任状出席556人を含む) ※総会当日会員総数1,122人	○平成30年度収支補正予算について ○平成30年度事業報告について ○中期事業計画の平成30年度進捗状況検証の報告について ○平成30年度収支決算、監査報告 ○令和元年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて

(2) 理事会

会議開催日	主 な 協 議 内 容
第1回 4月26日	○令和元年度定時総会の開催について ○平成30年度事業報告及び収支決算報告について ○被表彰者の決定について ○中期事業計画の進捗状況検証の報告について ○理事長及び常務理事の職務執行状況の報告 ○平成30年度収支補正予算(第2号)報告
第2回 10月25日	○理事長及び常務理事の職務執行状況の報告 ○令和元年度上半期の事業及び収支報告 ○令和元年度中間監査報告 ○職員の事務処理に係る対応について
第3回 12月20日	○事務局職員給与規程の一部改正について ○兵庫県公益法人検査の結果報告
第4回 3月13日	○令和2年度事業計画について ○令和2年度収支予算について ○令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて ○公益社団法人芦屋市シルバー人材センター定款の一部変更について ○令和元年度収支補正予算について ○公益社団法人芦屋市シルバー人材センター印章規定の一部改正について ○小町カフェ事業実施要綱の一部改正について ○特定費用準備資金・資産取得資金の取扱い規程の制定について ○特定費用準備資金・資産取得資金の保有について ○公益社団法人芦屋市シルバー人材センター事務局職員給与規程の一部改正について ○理事長に対する権限委任について

(3) 部会・委員会等

ア 部会

① 総務部会（部会開催：3回）

センターの規程、要綱の制定・改正及び職員採用について協議を行いました。

- ・事務局職員給与規程の一部改正について
- ・職員の事務処理に係る対応について
- ・事務局職員の採用について

② 事業運営部会（部会開催：13回）

令和元年度事業計画及び第2次中期事業計画に基づいて、事業運営の具体的な実施についての協議、検討を行いました。

また、令和元年度の大きな取り組みとして、専門委員会を見直し、新たな取り組みに向かって再編成を行いました。

その他、以下の項目について協議しました。

- ・宮塚公園の活性化イベントの検討について
- ・平成30年度中期事業計画の検証について
- ・芦屋市長及び議長への要請行動について
- ・市役所展示コーナーについて
- ・プレミアム商品券取扱いについて
- ・第3回シルバーフェスティバルについて
- ・配分金の見直しについて
- ・先進シルバー視察研修について
- ・新規事業「小町モール」について
- ・新型コロナウイルス感染症に対するセンターの対応について

イ 委員会

① 広報委員会（委員会開催：11回）

- ・会報「はつらつ芦屋」第28号及び第29号を発行しました。
- ・毎月センターホームページを更新し、センターの情報発信の充実を図りました。
- ・シルバーフェスティバル等センター活動の普及啓発に係るチラシ等の作成をしました。
- ・しるば〜たいむずの編集に取り組みました。

② 企画委員会（委員会開催：6回）

- ・10月から12月を会員拡大強化月間とし、「1会員が1人紹介運動」を推進するとともに、JR芦屋駅、大型スーパー及び郵便局周辺でセンターリーフレットと名入れティッシュ、新たに作成した「会員募集」チラ

シ等を街頭配布し、会員増強及び就業開拓の普及啓発活動をしました。

10月15日 南宮町郵便局及び大型スーパー前

11月11日 JR芦屋駅前周辺（500部）

12月13日 芦屋駅前郵便局及び銀行周辺（554部）

- ・ 公用車8台に会員募集等を記載したマグネットを貼付、公用自転車3台の前かごにプレートを貼付し、宣伝活動を推進しました。
- ・ 地域支援委員会と連携し、市役所ロビーにおいてパネル展を開催。今年度は「独自事業」「女性の会」「同好会」について市民にアピールしました。
- ・ 出張入会説明会に変えて土曜日にはつらつ館において入会説明を開催し会員獲得に努めました。
- ・ 会員のスキルアップのため接遇・個人情報保護講習会を企画、実施しました。
- ・ 会員からの新規事業提案をヒアリングし、新たに1件を採択しました。

③ 会員活動委員会（委員会開催：8回）

- ・ 会員相互の連携と親睦を推進するため、以下の内容を企画し、実施しました。

実施日	内 容
4月13日	清掃ボランティアを実施（終了後に懇親会も開催） 国道2号線沿い及び芦屋中央線の清掃に会員・職員合わせて63名が参加
6月7日	前期会員研修バスツアーを実施（会員81人参加） 行先：三重県 伊勢神宮 鳥羽温泉郷
10月5日	清掃ボランティアを実施（終了後に懇親会も開催） 国道2号線沿い及び芦屋中央線の清掃に会員・職員合わせて40名が参加
10月26日	委員会が中心となりシルバーオンステージを開催 15組77人が出演 出演者合わせて約200名が来場
11月16日	委員会が中心となり、はつらつ館全館及び南側道路において シルバーフェスティバルを開催し地域交流を図りました。 *養父市・三田市・明石市シルバー人材センターからも参加 協力いただきました。（約500人が来場）
11月26日	後期会員研修バスツアーを実施（会員71人が参加） 行先：福井県 若狭方面 三方温泉

*10月19日参加予定をしていた高齢者スポーツ大会は、当日雨天のため中止となりました。

・ 会員同好会活動報告

会員が自主的運営をしている各種同好会も活発に活動しました。

	同 好 会 名	活動回数	参加者延人数
1	歩こう会	2	2 9
2	ゴルフ同好会 (A S G 会)	6	1 5 3
3	囲碁同好会	4 2	1 5 0
4	写真同好会 (デジイチ会)	1 4	2 0 9
5	絵画クラブ O L I V E	2 1	1 7 2
6	手芸同好会 (編物同好会から改名)	1 2	1 2 5
7	はつらつサロン (ワイ・ガヤの会)	1 2	7 3
8	ビデオ散歩倶楽部	5	3 4
9	麻雀同好会 (すずめクラブ)	2 5	4 9 2
1 0	ダーツ同好会 (A S D C)	1 2	1 3 1
1 1	カラオケ同好会 (ひばりクラブ)	1 1	1 7 9
1 2	将棋同好会	1 9	1 3 1
1 3	アンサンブル同好会 (ど〜れ)	2 7	1 9 3
1 4	ウクレレ同好会 (A G B ハワイアンズ)	1 2	1 6 5
1 5	ジャズを楽しむ会 (All That Jazz)	2 2	7 2
1 6	コーラス同好会 (うたクラブエチュード)	1 9	1 6 5
1 7	コントラクトブリッジ研究会	9	8 7
1 8	マジック研究会	2	8
	同好会活動実績延合計数	2 7 2 回	2, 5 6 8 人

* 令和元年度は新たにマジック研究会が立ち上がりました。

④ 地域支援委員会 (委員会開催：7回)

福祉・家事援助サービス事業の女性就業会員の拡充等の課題及び地域に役立つ事業等についての協議を重ね以下の活動を推進しました。

- ・家事援助就業会員の意見交換会を開催し、情報交換及び情報の共有等を行いました。
- ・“シルバー会員みんなが認知症サポーター”を目指し、「認知症サポーター養成講座」を3回実施しました。(令和元年度末のサポーター会員は266人)
- ・宮塚自治会と情報交換の場を持ち、相互に連携・協力を図れないか等について協議しました。
- ・今年度も、企画委員会と連携し、市役所ロビーにおいてパネル展を開催し、センター活動の周知を行いました。
- ・地域支援委員が中心となり手作りおもちゃを製作し、子ども達との交流のため市内保育所(5ヶ所)を訪問しました。

実 施 日	場 所	参加者数
1 月 1 0 日	精道保育所	延 4 4 人
1 月 1 6 日	岩園保育所	
1 月 2 2 日	緑 保 育 所	
1 月 3 0 日	大東保育所	
2 月 1 2 日	新浜保育所	

※ 2 月 3 日 打出保育所はインフルエンザにより中止

* 3 月 5 日に健康講座を企画しましたが、新型コロナの影響で中止となりました。

⑤ 安全委員会（委員会開催：6 回）

- ・安全就業事業計画の作成、安全就業月間の取組みの企画、事故の防止について協議を重ねました。
- ・安全パトロールでは除草・剪定現場だけでなく、清掃作業・駐輪場整理など幅広く就業状況の確認を行い、就業ハンドブック携行の確認など安全な就業の徹底を呼びかけ、現場での問題点・情報を収集し、改善・反映に努めました。
- ・安全標語を会員から募集・選定し、安全推進大会で優秀作品を表彰。短冊の配付等により会員の安全意識向上に努めました。
- ・発生した事故について、該当会員への聴き取り調査を行う事で事故原因のデータ収集・防止策の意見収集を行いました。
- ・「安全委員会だより」（第 5 2 号～第 5 4 号）を発行し、安全意識の重要性の啓発の他、就業会員の声の発信、委員会の活動報告等を行いました。
- ・機材の点検、保管場所の安全確認を行いました。
- ・新入会員オリエンテーションの時間を活用して、安全意識の啓発と事故防止の呼びかけを行いました。
- ・作業別安全就業基準の検討を行いました。

安全に関する講習等の詳細は次のとおりです。

開催日	講習名等	目的及び内容	参加者数
毎月第 3 火曜 (オリエンテーション)	安全・適正就業に関する講習会	新入会員に対して安全就業及び安全意識の啓発、適正就業についての周知	1 3 0 人
7 月 2 0 日	シルバードライビングスクール (芦屋警察主催)	夜間運転時の判断力の体験	4 人
7 月 3 1 日	第 3 回安全推進大会	会員の安全意識の向上と健康維持を目的として開催。安全標語入選者表彰、事故報告、講演会、「安全宣言」 講演：「健康と安全」 講師：落語家林家笑丸氏	8 1 人

11月29日	救命救急講習会	人形を使用した心肺蘇生やAEDの使用 方法 救急時の応急処置についての実地体験 はつらつ館内避難設備及び設置個所等 の確認	26人
1月24日	交通安全講座及び 消火訓練	自転車シミュレーターの体験と事故に 関するビデオ鑑賞。 消火訓練（水消火器）の実施	28人
2月26日	健康安全講座	保健師による「生活習慣病予防講座」 血管年齢・体組成計による筋肉量・体脂 肪測定 椅子に座っての体操	25人

・事故報告

「事故ゼロ」を目指し取り組んでまいりましたが、傷害事故が6件（前年度6件）、賠償事故が4件（前年度4件）発生しました。

会員の 傷害事故 (6件)	・就業中、雨が降り出して急ぎ足となった際に転倒 ・帰宅途中、バイクで走行中、バランスを崩して転倒 ・就業中、放置自転車を移動させようとした際ひじの靱帯損傷 ・就業途上、横断歩道の段差で自転車から転倒 ・就業中、施設内の床が濡れており転倒 ・就業終了後、帰宅の際に階段から落下
第三者への 賠償事故 (4件)	・家庭での散水作業終了後に水栓を閉め忘れ、水道料金を賠償 ・剪定作業中にテレビのケーブルを誤って切断 ・剪定作業中に壁に損傷 ・剪定作業中にインターネットケーブルを切断

⑥ 適正就業推進委員会（委員会開催：5回）

- ・法令遵守の徹底等、適正就業の推進を図りました。
- ・適正就業相談窓口を開設して会員の就業相談に対応しました。
- ・未就業会員に対して電話による現況聴き取り調査を実施し、就業紹介時等に活用されるよう、収集した情報を事務局と共有しました。
- ・新入会員に対して入会オリエンテーションを利用して、適正就業ガイドライン（会員用パンフレット）を用いた請負・派遣等の就業についての説明を行い、適正就業の周知徹底を図りました。
- ・長期継続就業について就業希望者を公募し、ワークシェアを行いました。

(4) その他の活動

ア 地域班活動（活動回数：13回 会議開催：1回）

- ・令和元年度は44人体制で、毎月事務局だより等を担当地区の会員宅へ配布しました。（※地域班世話人名簿を議案書最終頁に掲載）
- ・定時総会開催に、受付及び交流会を担当しました。

イ 「女性の会」運営委員会（会議開催：6回）

- ・「芦やん小町通信」第7・8号を発行し、活動を広く周知しました。
- ・女性の会の運営について協議を行い、以下の活動を実施しました。

実施日	内 容
7月 3日	ミニイベント「フラダンス講習」19人が参加
11月16日	シルバーフェスティバルでバザーを開催 売上金（78,655円）は、すすく学級に遊具で寄付
1月25日	老人福祉会館において第6回「女性の集い」を開催 「能」鑑賞と体験及び茶話会に73人が参加

- ・「お手玉の会」は以下の活動をしました。

実施日	内 容
毎月第3木曜日	会員の交流の場として、お手玉の会を毎月開催
毎月第2火曜日	お手玉づくりの活動
5月 8日 9月20日	潮見集会所において地域の高齢者へお手玉遊びとレクリエーションのボランティア活動（参加者延べ13人）
10月26日	シルバーオンステージに出演（参加会員9人）
2月20日	エルホーム芦屋のデイサービスでボランティア活動（参加者30人）

7 会員の知識と技能の向上

(1) 新入会員対象のオリエンテーション

開催日	内 容	参加者
毎月第3火曜日 9:30~12:00	会員の心得、就業について 接遇研修、安全・適正講習等	新入会員全員参加 義務付け

(2) 会員の知識・技能の向上のために講習会を開催しました。

講習名	開催日	内 容	参加数
剪定講習会 (一般市民参加型)	5月21日・22日 23日（3日間必須）	植木剪定の講義・実技 (講師：剪定班会員)	14人
はつらつキッチン 講習会	6月21日・10月18日 2月21日	料理講習及び交流会 食事作り就業者の情報交換	40人
子育て支援ステップ アップ研修会	5月24日 9月27日	現代の子育て事情、全体会議 子どもの関わり方、	18人 15人

子育て支援勉強会	7月26日・10月25日 1月24日・3月27日	情報共有・感染症の基礎知識 ヒヤリハットについて等	37人
MANパワー チーム講習会	毎月第4火曜定期開催 (新人対象)	窓ガラス・網戸等の実技 (講師：チームメンバー)	9人
認知症サポーター 養成講座	7月30日・11月26日 2月26日	認知症を理解するサポーターの養成講座	28人
就業者向け研修 (子ども見守業務)	8月23日	不審者の見分け方、対処方法等 (講師：芦屋警察)	23人
福祉・家事援助 サービス講習会	8月28日・29日	意見交換会及び相談 (情報交換及び情報共有)	29人
会員スキルアップ 講座	12月6日	接遇・個人情報保護講習会 (講師：企画委員会)	17人
清掃講習会 (初級者対象)	12月16日	掃除の基礎講習・実習	5人
技能講習会 (一般市民参加型)	1月24日	網戸・障子張り替え講習会	8人
福祉・家事援助 サービス講習会	2月18日	意見交換会	21人
子育て支援新人研修	10月16日・1月22日・ 3月30日	まっぼっくり・会員の心得 子どもの発達、安全等	5人

※令和元年度は、「新型コロナウイルス感染症」の影響により、企画された以下の研修・講習会は中止となりました。

- ・2月27日開催予定 福祉・家事サービス講習会(防災備蓄セミナー)
- ・3月 5日開催予定 地域支援委員会主催「健康講座」(介護予防)

(3) 子育て支援班の会員が、知識習得と技能向上のため、外部研修会に参加しました。

開催名	開催日	内 容	参加数
保育所保育方針 職員研修	10月29日	今後求められる保育内容等	1人
地域子育て支援者及び 担当職員育成研修会	11月20日 2月27日	・保護者支援の大切さ ・子育て家庭への地域支援	2人

8 事務局活動等

(1) 情報の収集及び調査活動

事業の適正かつ効率的な運営を図るため、兵シ協、他市センター及び関係団体との連携を図り、事業活動や就業に関する情報の収集に努めるとともに積極的に上部組織主催の会議、研修会へ出席しました。

① 関係団体の会議

開催日	内 容
4月23日	第1回 兵シ協事務局長会議
5月20日	第1回 阪神ブロック会議
6月13日	兵シ協 定時総会
6月18日	近シ協 定時総会及び管内役員研修
6月20日	全シ協 定時総会
7月22日	兵シ協 事務集中化参加SC検討会議
8月 2日	芦屋市&芦屋市シルバー定例合同会議
8月30日	隣接市シルバー広域連絡理事長会議
9月 6日	第2回 兵シ協事務局長会議
10月16日	第3回 兵シ協事務局長会議
10月30日	兵シ協 事業推進大会
11月22日	全シ協派遣事務担当者会議
1月27日	第4回 兵シ協事務局長会議
2月 5日	第5回 兵シ協事務局長会議
2月17日	兵シ協 中長期計画作業部会
2月27日	隣接市シルバー広域連絡理事長会議

※近シ協：近畿シルバー人材センター連絡協議会

② 各種研修会

開催日	内 容
4月16日	県関連団体運営基礎研修会
6月13日	働き方改革関連法案セミナー
6月18日	近シ協 定時総会及び管内役員研修
6月21日	NRI 社会情報システム顧客セミナー
6月24日	安全運転管理者等講習
7月 4日	阪神ブロック役職員研修
7月23日	兵シ協 監事研修
7月26日	兵シ協 安全適正就業推進会研修
9月25日	近シ協 管内事務局職員研修会
9月27日	派遣元責任者講習会
11月 7日	社会保険事務講習会
11月15日	兵シ協 適正就業推進研修
11月20日	子育て担当職員育成研修会
11月27日	公益法人簿記研修会
11月29日	阪神ブロック役員視察研修
12月 4日	兵シ協役員研修
12月13日	職業紹介責任者講習
12月13日	阪神ブロック職員研修
12月20日	全シ協会計・経理担当者会議
12月26日	兵シ協派遣実務担当者研修

1月16日	サイボウズセミナー
1月17日	派遣事務担当者研修
1月23日	エイジレスユーザー研修
2月4日	決算事務研修会
2月7日	経理担当職員研修
2月20日	無期転換ルールセミナー

③ 役員等視察研修

視察研修日	視 察 先	主な研修内容	
1月28日 ～29日 (愛知県)	豊田市シルバー 人材センター 犬山市シルバー 人材センター	組織体制、会員拡大、地区活動、 派遣事業等 ポイント制度、独自事業 派遣事業、各種講習会等	役職員 13名

④ 視察来訪

来訪日	来訪センター等	主な視察内容
8月6日	鹿児島市シルバー人材センター (役職員3名)	独自事業について 会員主導型の運営等
8月14日	小野市シルバー人材センター (役職員3名)	マンパワーチームの活動、運営 について
8月22日	厚生労働省職業安定局 (課長、課長補佐の2名)	地域に密着した活動 現場の視察等
11月19日	伊丹市シルバー人材センター (職員2名)	新総合事業について (生活支援型訪問サービス)
12月12日	安芸市シルバー人材センター (事務局長1名)	会員主導の活動 独自事業、女性の会
2月14日	愛知県連合会及び県内拠点 15市6町(総勢37名)	女性会員の活動、 独自事業等について

* 6月21日に東京で開催された、NR I 社会情報システムの顧客セミナー
(全国のセンターから200名参加)で、当センターの活動が紹介されました。

⑤ 行政及び関連団体との連携

- ・シルバー事業の理解及び周知と市との連携強化のため、福祉部長及び関係所管課長とセンター役職員による合同会議を8月2日に開催しました。2回目の会議は新型コロナウイルス感染症の影響から中止となりました。
- ・宮塚町自治会と連携をとるための意見交換会を行いました。

(2) その他

- ・兵シ協が実施する有料職業紹介事業はありませんでした。
- ・各関係機関からの指導及び調査等は以下のとおりです。

来訪日	調査・研究機関	内容等
6月13日	芦屋市福祉部監査指導課	保険事業者(新総合事業)実地指導
11月25日	兵庫県公益認定等委員会	公益法人検査

- ・今年度も芦屋市から「芦屋市生活支援型訪問サービス従事者研修」を受託し、3回実施しました。
- ・ひょうご生涯現役促進事業「高齢者就労相談窓口」を継続契約しました。
- ・5月20日から5日間、精道中学2年生が「トライやるウィーク」で就業体験しました。
- ・芦屋市プレミアム商品券の販売所として登録しました。
- ・「新型コロナウイルス感染症対策会議」を設置し、対応について協議のうえ、理事会及び事業運営部会で決定、会員に周知しました。

	開催日	内容等
第1回	2月26日	当センター主催の2月27日から3月10日までのイベント等の自粛または延期の決定
第2回	3月6日	3月11日以降の対策を協議し、4月5日までの「はつらつ館」利用を中止。まっぼっくり、小町カフェは営業継続。
第3回	3月16日	3月11日の芦屋市での発生を受け開催。4月6日以降の対策を協議。危機管理体制、会員への対策、職員への対策等の検討。就業への影響の検証。
第4回	3月26日	市内の新型コロナウイルス感染症対策の現状を検証し対策を検討。館内の講座・教室等は4月末まで中止延長。5月末の定時総会開催方法の検討。